

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語) 科目：(現代文 B) 対象：(第 3 学年 1 組～ 8組)

科目担当者：(1・4・8組：中西) (2・3・5組：大草) (6・7組：倉股)

2

教科の 指導目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 国語を適切に理解し的確に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 2 思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高める。 3 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
-------------	--

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1年次から2年次にかけて、国語知識、評論、小説に対する学力の向上が見られた。模擬試験にもその結果が見られる休校により授業開始が遅れたが、家庭での課題の取り組みも良好であり、授業中の姿勢にも、意欲の高まりが十分に見られる。古文読解にやや弱さがあるが、現代文の時間に文語体の近代小説を扱うことで、その克服も狙う。	<ol style="list-style-type: none"> 1 漢字力(読み取り、書き取り)とともに語彙力を高める指導を行う。 2 文章の内容は大まかに読み取れているので、それを入試問題を解く際に正答を出せるように指導する。 3 自分の考えを的確に表現したり条件に合った解答をしたりする力をつける。 4 文語体の近代小説を扱い、文語体に慣れ、本文から直接解釈をすることができる力を養う。 	<p>読解力と理解力、表現力を高めるために、更に様々な文章により多く触れさせる。</p> <p>その他については基本的に年度当初の以下の指導体制を継続する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指導内容・方法・評価については担当者全員で検討し決定する。 2 定期的に漢字テスト及び語彙テストを実施する。 3 計画的に問題演習を行う。 4 夏期休暇・冬期休暇中に講習を行う。 5 志望校に合わせた個別指導を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			